

防犯

だより

vol.71

防犯専門官

山田 英明
やまだ ひであき

安全安心のまちづくり

減少する犯罪の発生

警察庁の統計によると刑法犯の認知件数は年々減少を続け、平成25年に

131万4140件

であったものが、平成29年には

91万5042件

と大幅に減少しています。この減少傾向は本市でも同様です。これは、全国各地で実施されている「自分たちのまちは、自分たちで守る」という自主防犯活動が功を奏したのではないかと考えられています。



地域での取り組みに参加しませんか



犯罪抑止に効果があるとは言え「自主防犯活動に参加する」というと何だか大変そうに思われますが、そのキーワードは「無理せず、できることから」と言われています。気軽に参加してみてもいいのではないでしょうか。

実際に行われている活動は
・自治会の防犯パトロール活動（徒歩による夜間の見回りや、青パトによる見回り）
・地域の環境浄化活動（落書き消し、清掃など）

・子どもの安全を守るための登下校時の見守り活動などがあります。

でもハードルが高い？

このような地域で組織的に行われる活動に参加するのは、何だかおっくうなので、何か気軽にできることはないのかと、考えている人もいます。

それには例えば、
・お住まいの町内で会う人は、知っている人も知らない人も目線を合わせてあいさつをする
・犬の散歩や買い物時に「ついで隊」の腕章を着用して歩行をする
・通学路の近くに住んでいれば、登下校の時間帯に玄関口に立ったり、庭いじりをしながら外の様子を見回す



など、地域の中でコミュニケーションを図ったり、簡単な活動を行うことが考えられます。

ちょっとしたことです、地域の連携が強化され、近隣を見回す目が増えれば、不審者はその地域に侵入しにくくなります。

まず「自分たちのまちは、自分たちで守る」という気持ちで、身近なことから始めてみませんか。

なお、ついで隊の登録は、市役所3階防災安全課窓口で受け付けています。



筑紫野警察署からのお知らせ ～百貨店をかたる詐欺が多発～



百貨店をかたる者、銀行協会をかたる者による詐欺が発生しています。

銀行員が自宅までキャッシュカードを取りに来ることはありません。他人にキャッシュカードを渡さないようにしましょう。

百貨店をかたる者



・弊社のカードはお持ちですか？
・カードが悪用されています
・銀行協会に電話してカードを止めて下さい

銀行協会をかたる者



カードを預かります